



ザスパクサツ群馬

FanFunFieldFestival 1/2

コロナ禍によりGWにおける旅行などのアクティビティが制限される中、少しでも長期連休を楽しんでもらおうという思いから普段なかなか入ることのできないスタジアムの芝生上を開放し親子での遊びの機会を創出した。ピッチを開放しボールを蹴ったり、散水をしている中走り回ったりと子どもたちの元気な姿が見受けられた。ピッチ以外でも芝生管理の器具の説明や選手が実際に使用するロッカールームを試合当日のように装飾し試合日の風景を再現。解放後には敷島公園内のベンチをザスパカラーに塗るワークショップも実施した。



活動場所 群馬県立敷島公園



協働者

企業、行政

協働者名

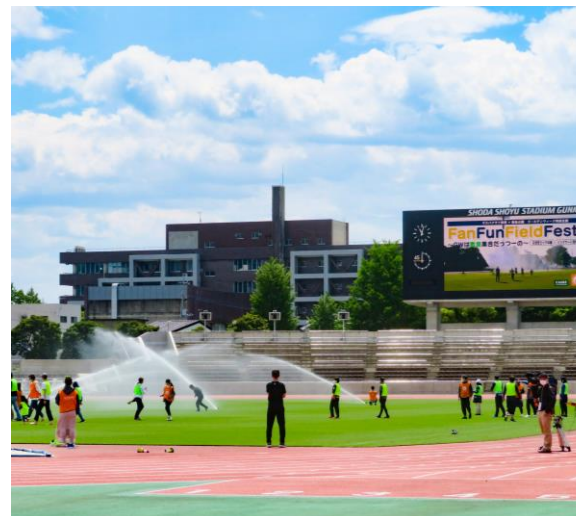
敷島パークマネジメントJV(株式会社オリエンタル群馬、株式会社富士植木 他2社による共同事業体)、株式会社カインズ



協働者の声 敷島パークマネジメントJV/岡田 達郎 氏



芝生開放イベントのチームとの協働開催は、私たちにとって今回が初めての経験となりました。コロナ情勢の悪化により、開催自体が危ぶまれましたが、県民の皆様にご貴重な体験をご提供することが出来て本当に良かったです。開催の反響も大きく、地域におけるチームの存在感の大きさを改めて実感した瞬間でもありました。



活動詳細情報

1

[THESPA NEWS](#)


カテゴリー(SDGs)/取り組みテーマ





ザスパクサツ群馬

FanFunFieldFestival 2/2

Story

2020シーズンよりコロナ禍の影響でクラブのホームタウン活動が止まっていました。選手の稼働が困難になり地域の方々との接点が減少している中で少しでもスタジアムのことを想起してもらうためには何かなくてはといった思いがありました。

今回の活動はそういった状況の中でホームスタジアムの正田醤油スタジアム群馬の指定管理を行なっている敷島パークマネジメントJV様より声をかけていただき実現に至った活動になります。

時期は5月の大型連休。旅行の計画をたて、家族との時間を過ごすはずがコロナ禍により長距離での移動が困難という状況や、学校関係者によると



学校行事などが軒並み中止となり外で遊ぶ機会が減り肥満体質の子どもが増えているという情報を知りました。

そこで家族でのアクティビティの場の提供をザスパでできないかというのが活動の始まりです。

芝生管理の技術に長けている正田スタの芝生の上を開放し子供たちに体験してもらいました。普段入ることのできないピッチ上に参加者の皆さんは大興奮。

会場ではスタジアムの芝生管理を行う「富士植木」様より芝生管理についての説明や、ロッカールームを公式戦当日のように装飾し試合日に選手がどん流れで試合に向かうかなどの説明を行いました。芝生上開放後には、株式会社カインズ様と協力し敷島公園内のベンチを紺と黄色のザスパカラーに塗るイベントを実施しました。



イベントを通して子どもたちの笑顔がとても目に入り、クラブスタッフもホームタウン活動の重要性を改めて実感した1日になりました。

8月にも同イベントを実行予定でしたがコロナ禍による情勢悪化により中止となってしまいました。今後は夏の芝生上の冷たさを実感してもらうことやスタジアムの芝生の切れ端を持ち帰ってもらう自宅にて養生しスタジアムに移植してもらうなどのイベントを実施予定。